

取手市新型コロナウイルス感染症対策本部  
本部長 藤井信吾 殿

取手市議会災害対策会議  
座長 齋藤久代

取手市議会災害対策会議からの提言及び調査について

標記の件につきまして、取手市議会災害対策会議において協議の結果、下記のとおり提言するとともに、調査を求めます。

記

○提言事項

①発熱外来の設置を

(提言内容)

医師会の協力を得て、発熱外来を設置し、心配な方はそちらを受診してもらうという体制を取れないか。これにより、保健所とかかりつけ医間の堂々巡りが解消される。

(例) 医師会病院の駐車場にドライブスルーの発熱外来を設置するなど。

つくば市では、何カ所かの大きい病院が発熱外来を設置している。

取手市民の不安解消のために、発熱外来の設置を強く提言する。

(提言に至った背景)

現在、新型コロナウイルスにもしかしたら感染しているかもしれないと思う方が直面しているのは、かかりつけ医に診察してもらえない状況。「感染の疑いがある方は、竜ヶ崎保健所へ連絡を」と、多くの開業医も入口に貼り紙がしてある状態。

しかし、竜ヶ崎保健所へ連絡すると(現状電話もつながりにくい状態)、とりあえずかかりつけ医に診察してもらうよう指示される状況です。地域の開業医は、備品が不足しているなどの理由で、診察に消極的にならざるを得ない。と聞いている。

また、感染対策ができて診察可能であっても、他の患者さんと隔離するための準備等に時間を取られ、受け入れによって、他の患者さんにしわ寄せがいつてしまうといった理由も伺っている。

②「緊急時生活支援チーム」の設置を

(提言事項)

愛知県犬山市では、健康観察や日常生活をサポートする「緊急時生活支援チーム」を設置した。濃厚接触者及び軽症の感染者の生活を守るためにも必要な事業であり、取手市においても、業務中止や事業中止、延期、凍結等により、通常業務の手すきが想定される。その人員によってチーム結成により、速やかに同様の事業が実施できるよう提言する。

### (提言に至った背景)

濃厚接触者及び軽症の感染者で自宅待機となった者並びに同一世帯に属する家族のうち、親族等から生活支援（食料品や生活必需品などの買い物、薬の処方受け取りなど）を受けることが困難な市民への対応が求められている。

## ③酸性電解水（次亜塩素酸水）などの無料配布により、市民の不安解消を

### (提言事項)

酸性電解水（次亜塩素酸水）などの無料配布により、市民の不安解消を提言する。  
なお、実現までの課題として、予算措置、配布規模や配布方法を明確にする必要があるとともに、国からの助成を待つ段階では難しい課題という認識はあるものの、市民一人一人が家庭等のできる感染拡大防止方法として有効と考え、提言する。

### (提言に至った背景)

新型コロナウイルスの影響で消毒用アルコールが品薄になっている。県内では神栖市、鹿島市、筑西市、潮来市、常陸太田市等が除菌効果のある酸性電解水（次亜塩素酸水）を無料配布している。取手市民も感染の拡大に不安を感じていて目に見える対策を期待している。

## ④緊急事態宣言対象地域からの来県・来市自粛の周知を

### (提言事項)

政府による緊急事態宣言後、県外からの買い物客や遊興施設に多くの人が来県している事態があり、大井川知事は自粛要請拡大を発表した。市としても、県の発表内容を周知し、感染拡大防止により一層努めるよう提言する。

### (提言に至った背景)

緊急事態宣言が出され東京都、千葉県等の対象地域から買い物客や遊興施設に多くの人が来県している事態が見受けられ、不安を抱いている市民が多くいるため。

## ⑤防災行政無線の点検、活用と広報車による市内巡回啓発を

### (提言事項)

防災行政無線放送がリニューアルされたが、不具合の発生により放送できていない地域があるとホームページで広報されている。工事完了・支払の点検はどうなっていたのか。また、不具合の原因を明らかにすること。また、「4月13日から5月15日の間に点検や修繕を実施する。」とされているが、現状を踏まえ、速やかに改善すること。

さらに、啓発や注意喚起にとどまらず、外出自粛協力への感謝の言葉なども放送していくこと。次に、広報車により、新型コロナウイルス感染拡大防止を市内巡回により広報すること。（つくば市など他市では既に行っている）

### (提言に至った背景)

防災行政無線が聞こえないという声がある。市HPでも広報されているとおり、放送されていない地域がある。防災行政無線放送の工事完了支払いに当たり、検査確認はどうなっているのか。また、聞こえない地域への対応策として広報車も有効活用すべき。

## ⑥新型コロナウイルス感染症が拡大している今、大規模災害を想定した方策・方針の確立と周知を

### (提言事項)

市地域防災計画どおりの避難行動などは難しい状況にある。特に避難所の運営には一定の方策と方針を早急に確立しなければならない。また、その方針等を市民に周知し、啓発を図ることを提言する。

### (提言に至った背景)

直近に大地震や風水害等の災害発生により、避難所開設となった場合の対応方針が見えていないため。

⑦保育園や幼稚園送迎時に保護者のマスク着用の啓発を

(提言事項)

保育園・幼稚園送迎時に保護者のマスク着用啓発を提言する。

(提言に至った背景)

保護者がマスクを着用していないことへの不安の声を聞くため。

⑧市民税、固定資産税、国民健康保険税の納期限猶予や減免措置の検討を

(提言事項)

市民税、固定資産税、国民健康保険税の納期限猶予や減免措置の検討を提言する。

(提言に至った背景)

市税の納付書が郵送され、市民からは猶予などの施策取り組みをしないのか？取り組むべきとの声を聞くため。

⑨市奨学金制度の願書受付期間延長、要件緩和、増額を

(提言事項)

市奨学金制度の願書受付期間延長、要件緩和、増額を提言する。

(提言に至った背景)

市奨学金制度の願書受付期間が5月15日までとなっている。昨今の情勢を踏まえ、願書受付期間を延長するとともに、要件の緩和や増額の必要性が生じているため。

○調査事項

1. 感染拡大が悪化しつつある状況を踏まえ、回覧板を回す必要性、内容の緊急性等について、市からのアドバイスと市政協力員への市の方針はどうなっているのか？
2. 市内飲食店への救済支援はどのように検討されているのか？
3. 休校時、日中、公園等で遊ぶ子どもたちへの防犯体制はどのようになっているのか？
4. 市職員の感染予防策はどのようになっているのか？

以上です。